

地域別木質チップ市場価格(令和7年10月時点)

NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会

価格は当会会員企業に対する調査を基にしている

(単位=円/kg:チップ工場渡し)

チップ区分 地域区分	F 1 ±1.5	F 2 ±1.5	A(切削) ±5	A(破碎) ±5	B ±3	C・D ±1.5	備考:市況の動向等	
北海道	6.3~9.3	0.3~3.3						
北東北			☆	☆	-0.2~2.8	入出荷量、在庫量ともに横ばいが中心。少ないという回答はなかった。		
南東北				0.2~9.2	0.0~4.5	-0.8~2.5	入出荷量も在庫量も横ばいが中心。一部で熊対策の河川敷等整備によりスポット案件で生木の入荷増。生木増にともない出荷増の傾向あり。	
北関東				1.0~4.5	2.5~6.8	1.5~4.5	入荷量と在庫量は少ないの回答が最も多く、次いで横ばい。入出荷量では多いという回答も見られる。9月頃より搬入量が減少。	
南関東			☆	3.1~11.5	4.1~8.9	0.1~2.5	入出荷量、在庫量ともに横ばいと少ないが拮抗。10月から入荷が激減し、非常に厳しい状況。需要は多いため入荷量に合わせて出荷量を制御。	
中関東				1.0~5.0	2.5~7.5	0.1~2.6	入出荷量は少ないの回答が最も多く、次いで横ばい。在庫量は少ないの回答が圧倒的多数。チップの需要に対して発生量が少ない。	
東海				8.1~15.8	6.0~11.5	0.0~6.0	0.0~2.8	入出荷量と在庫量は横ばいと少ないが拮抗。生木系の入荷はほぼ横ばいであるが、解体系の入荷が少ない。
北陸						☆	☆	入出荷量は多いと横ばいが拮抗。災害木くずを受け入れ、全量出荷。
近畿			☆	3.0~9.6	0.0~4.6	0.0~2.9	入出荷量も在庫量も横ばいと少ないが拮抗。多いの回答はなし。	
中国				0.0~5.0	1.5~5.0	0.1~2.0	入出荷量、在庫量ともに横ばいが中心。山陰は解体減少で見通しが厳しい。	
四国						☆	☆	入出荷量も在庫量もばらつきがあり、多い・少ない・横ばいが拮抗。
九州	☆	☆	1.0~4.6	-0.5~2.5	入出荷量、在庫量ともに横ばいが中心。入荷は地域差あり。出荷は滞りなくできている。在庫は販売先の在庫が多い状況。			

※チップ区分の欄にある±表示は、集計したデータの中央値を基準としてそれぞれの範囲を定めたもの

※価格は原則として範囲内の実際の売価で表示した ※☆印は原則3社未満のもの、空欄は取引がないもの

※Fはバイオマス証明に関係するチップで、未着手の地域が多いために全国規模で表示した

※A~Dはバイオマス証明以外のチップでマテリアル用・サーマル用が混在している ※取引単位はサーマル用がADkg、マテリアル用がBDkg